

最優秀賞

題名：ぼくたちわたしたちの米づくり

古殿町立古殿小学校

古殿小学校

米づくりまき物

田植え前の準備

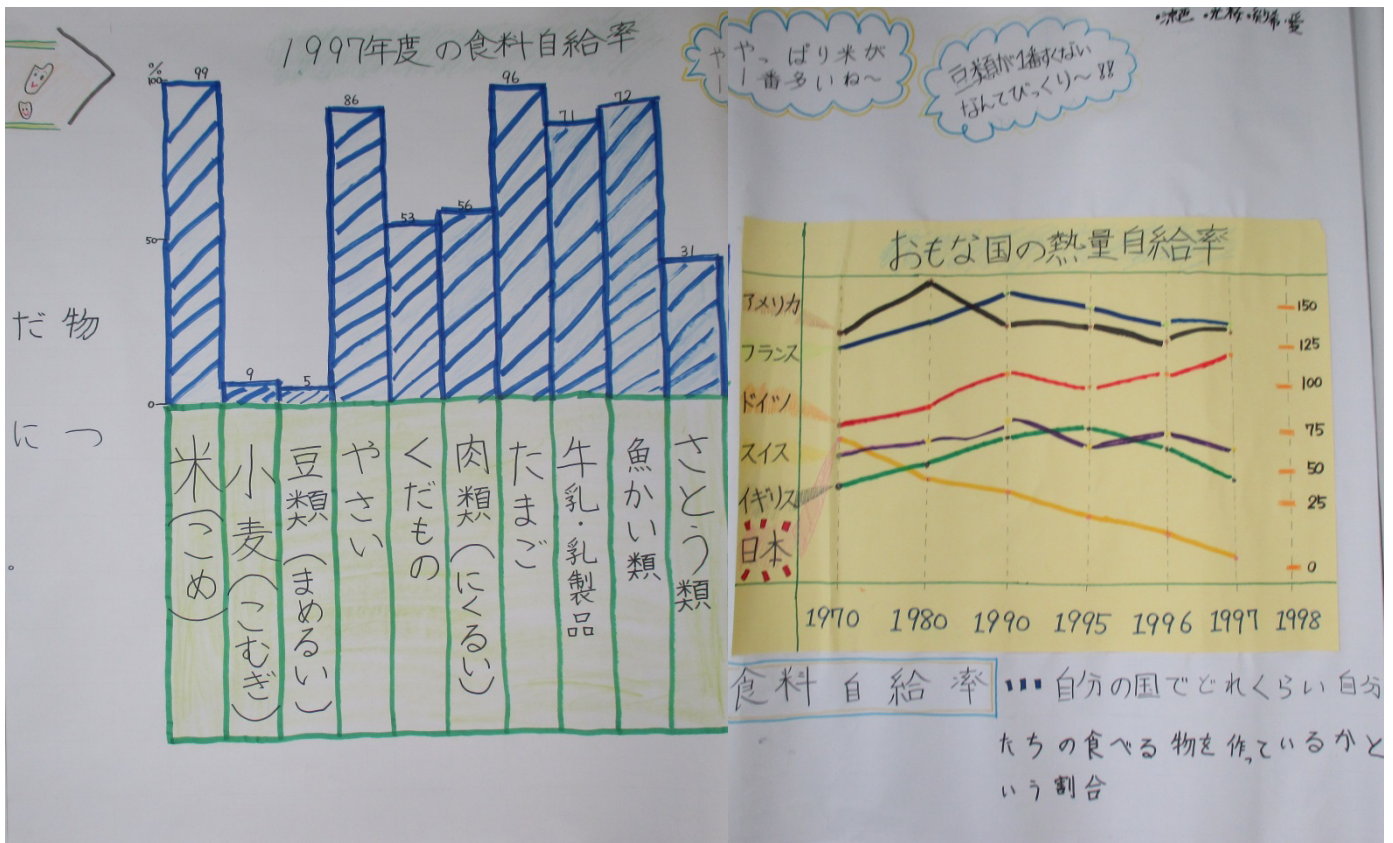
○よい種モミの選び方

- ①卵がちょうど、うくぐらいの塩水を作っておく。
- ②そこに、種モミを入れてかき回し、そこにしずんがよい種モミ。
- ③その後、芽が出やすくなるように、5～8日間水けておく。(毎日水を変えること)
- ④ふくらんで芽が1mmぐらい出てきたらもうまける

米づくりカレンダー

3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
種とまりき	種とまりき	田植え		草とり	田回り	かんそういねかり	もだみすく	せいまい	なわづくめでしめり

庄内米はどのような米祖をもっているのだろうか？
家系図を見ると、ササニシキとほらんで有名なササニシキとの関係が分かる。



米の歴史新聞

作者 歴史
米の歴史
日本班

①お米はいつから日本へ？

調べた結果

紀元前 五百年ごろ

温帯形ジャポニカ米の
イネと水田稲作が日本
に伝わる。

②日本で始めて水田稲作が
始まったのはどこ？

調べた結果

紀元前 三百年ごろ

奈良県でジャポニカ米を作っ
たのが始まりです。

③

水田稲作がへって
いったのはなぜ？

調べた結果

7世紀～8世紀

7百年～7百二十年

奈良県に都をうつす

都をうつすとき

田んぼが少なくなつて

いき、田んぼのききになりました

人口がふえていくに

つれて米を作る人が

へつていきました。

④

二毛作は何？
調べた結果

一年中あたたい

地いき沖繩など

米の稲を春に植えて

秋にしゅかくし、どう

植えて春にしゅかく

すること二毛作

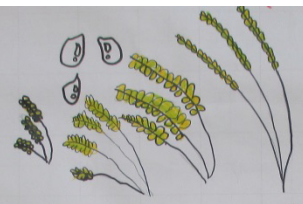
といい、秋にしゅかく

し、その水田を畑にし

るところもあるそ

うです。

古殿小学校



優秀賞

題名：バケツ稲作り

石川町立石川小学校

種まき (4月18日) 資料2 ①

＜まき方＞

- ① パックにコンパスで穴をあける。
- ② 新聞紙をひいて、土を平らにまく。
- ③ 種もみをまんべんなくまく。
- ④ 水をまんべんなくあげる。
水は毎日忘れずに (今日の水やり)






バケツ稲植え (5月24日) ②






- ① JAの方に栄養のある土をもらった。
- ② 水を入れて土を手でかき混ぜた。
土がかわいたら水をたす。

発芽 (4月26日) 8日後

＜気づいたこと＞

- ・ 稲に大切なのは一番最初の種まきだと思う。
- ・ 発芽するまで約一週間以上かかる事が分かった。

＜感想＞

- ・ 初めてや。てむずかしいと思った。
- ・ 水管理を気をつけて行うことができた。





土の深さはひじのあたりまであった。

まだかなー

ききたない

見て見て!

つうか? いっぱい!!

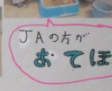
JAの方がおてほん

早くお米に

どうでね?

色づなことをおしえてくれてありがとうございました








観察 ① (6月8日) ③

＜気づいたこと＞

- 1、葉がのびてゆくに
つれて横はばがムチが
つていった。
- 2、横にふくれている
葉はざらざらだっ
た。

観察 ② (6月22日)




夏休みの稲の花写真, 吉田真風 ④

花 (真風の感想)

めったに見られなかった
ので見られてよかった。

おーい!!

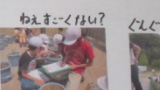
わえまこくはし?

くんとん度長に!

はやく大きくあれ

んー...!!




観察 ③ (7月7日)

＜気づいたこと＞

- 1、6月8日より葉が
太くなってきた。
- 2、コケが出てきた。

早くお米が
食べたいな!

観察 ④ (7月7日)

＜気づいたこと＞

- 1、1mをこえた。
- 2、葉が太くなっ
ていって本葉が
増えてきた。

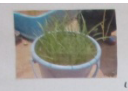
早く大き
ならないかな



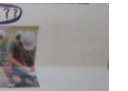

観察 ⑤ (7月7日)

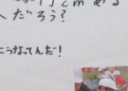
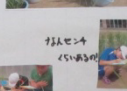
早くお米が
食べたいな!

早く大き
ならないかな

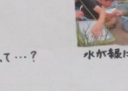
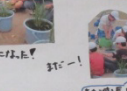
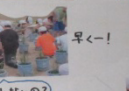
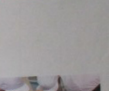




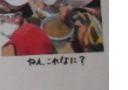






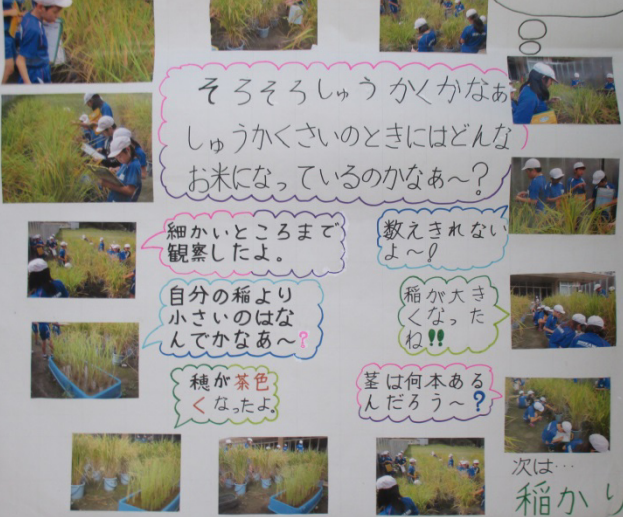
観察4 (9月9日) ⑤



稲の穂が出て来たよ!!
穂の色が緑で茎の数も増えていて成長した
と感じた。その他にも、穂がたれ下が、てい
ることに気がついた。
この緑色の穂がちゃんと白いお米に変わる
のかなあ〜? 少し心配になりました。
大変だったこと
・茎の数を数えること
・穂の長さを量ること
・絵を細かく描くこと

観察5 (9月27日)

どんな変化
があったかな?



そろそろしゅうかくなあ
しゅうかくさいのときにはどんな
お米になっているのかなあ〜?

細かいところまで
観察したよ。

自分の稲より
小さいのはな
んでかなあ〜?

穂が茶色
になったよ

数えきれない
よ〜!

稲が大き
くなった
ね!!

茎は何本ある
んだろう〜?

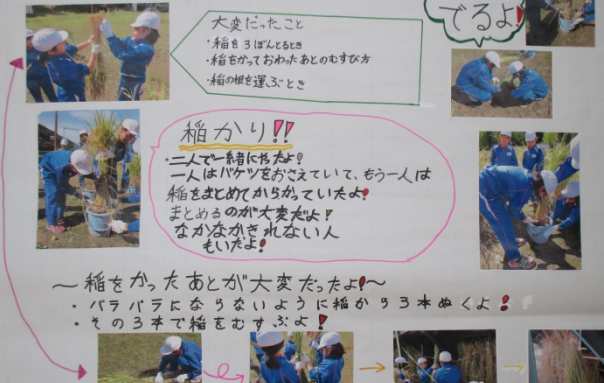
次は…
稲刈り

稲刈り (9月30日) ⑥

大変だったこと
・稲も 3 週間ほど
・稲を割ってお米とわらとをわける
・稲の穂を運ぶこと

稲刈り!!
二人で一緒に稲を割る
一人はバケツをおいて、もう一人は
稲をまわって割らなくていいよ
まわるのが大変だよ!!
なかなか割れない人
もいたよ!

〜稲を割ったあとが"大変だったよ〜"
・バラバラにならないように稲がうろ本ぬくよ!
・そのう本で稲をむすぶよ!

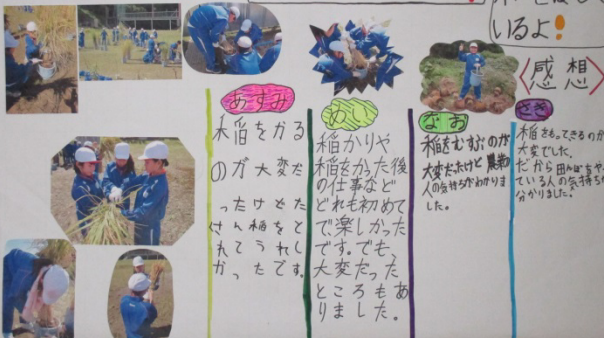


むすか〜! 稲をほして いるよ!

感想
稲を割るの
大変だった
けど、稲を
割った後は
稲をむすぶ
のが大変だ
った。でも、
稲を割った
ところもあ
りました。

稲を割るの
大変だった
けど、稲を
割った後は
稲をむすぶ
のが大変だ
った。でも、
稲を割った
ところもあ
りました。

稲を割るの
大変だった
けど、稲を
割った後は
稲をむすぶ
のが大変だ
った。でも、
稲を割った
ところもあ
りました。



脱こく (10月11日) ⑦

思ったより
大変で、手が
つかれたよ〜!!

おなかす
いた〜!!

鳥くろ
なよ〜!!

楽しい
な〜!!

まだまだ
終わら
ない

感想
最初は脱こく
が楽しかった
けど、だんだん
と手がつかれ
てきて脱こく
が難しくなっ
てきました。
でも、だんだ
んと手がつか
れ、脱こくが
楽しくなっ
てきました。
でも、だんだ
んと手がつか
れ、脱こくが
楽しくなっ
てきました。



楽しい
な〜!!

い〜はい
とれるか
な〜?

おいしいお
米になあ〜

早く食
べたいな
あ〜!!

感想
もみすりは、
時間がなが
く、手がつか
れ、大変だ
った。でも、
もみすりを
した後は、
おいしいお
米ができた。
とても楽し
かった。



もみすり (10月14日) ⑧

集中!!

まだまだ
終わらないよ〜
え〜んえ〜ん

ちょっと
休けい〜

あと少し!!

もみすり
とはすぜ〜!!

7-7-
できた!!

感想
もみすりは、
大変だった
けど、稲を
割った後は、
稲をむすぶ
のが大変だ
った。でも、
稲を割った
ところもあ
りました。

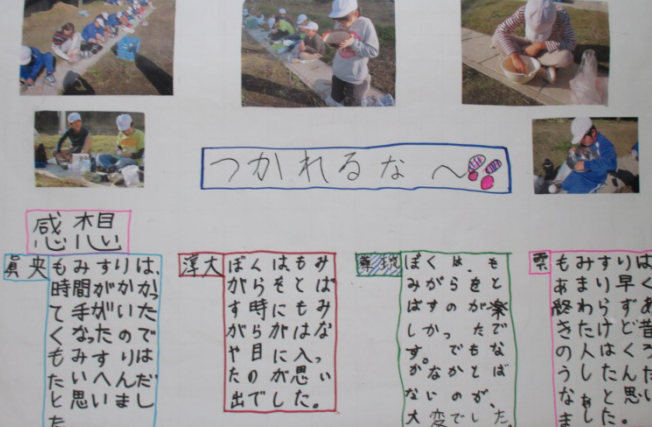


つかれるな〜

感想
もみすりは、
大変だった
けど、稲を
割った後は、
稲をむすぶ
のが大変だ
った。でも、
稲を割った
ところもあ
りました。

もみすりは、
大変だった
けど、稲を
割った後は、
稲をむすぶ
のが大変だ
った。でも、
稲を割った
ところもあ
りました。

もみすりは、
大変だった
けど、稲を
割った後は、
稲をむすぶ
のが大変だ
った。でも、
稲を割った
ところもあ
りました。

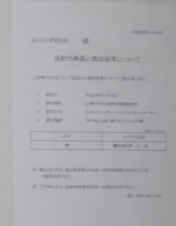


精米(11月16日)

＜精米器の使い方＞

- ①玄米を測る。
- ②金ざるのざるに測った玄米を入れる。
- ③コンセントをさしスイッチを押す。

200gを測って放射性物質の測定をした結果
検出されなかった



収穫祭準備(11月24日)

①まず玄米にした学級ごとの量を測りました。

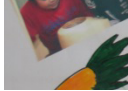
②二合の量を測りて精米にしました。

こめぬかのおいしさをかいています。

だんだん白米になってきたー

にんじんです

にんじん



精米してるうちにどんどん白くなる。白米になってきた

ただいま精米中

白米

玄米

これだけの色の差が出た。香りも白米の方が強い。

白米にしたあと精米器の中に米ぬかが入っていた。

感想

玄米がいつも食べているお米の色にな。たのはびっくりした！

しょうかくさい たのしみー！

ちゃんとつくれるかなー？

収穫祭の前日の日に黒くならない野菜を切りました。

まだかなー

まわってー

おいしいとんしる作るぞー

明日すげー楽しみー！

わきです

どれくらいかなー？

手きりないで！！

おはようございます

収穫祭<11月25日>

野菜の皮をむくところから始まるよ！みんなしんけん！！

次は野菜を切るよ！指を切らないように気をつけてね！

最後は調理！しっかり味つけをするよ。あともう少しで完成！

ついに完成！みんなでおいしく食べたよ！

あくをとっているよ！みんなががんばれ！！



学習のまとめ(12月1日)

原こう用紙3枚書くのは大変だなあ。どういうふうにかこうかなあ？

間にかこうかなあ？

原こう用紙3枚書くのは大変だなあ。どういうふうにかこうかなあ？

大変なこと、組み立てを考へること、水の管理のことについて書くこと

良い作品はしよう！

みんなであっという間に作ったバケツ稲。全部で70まわったよ！おいしかったよ！

JAの人の話を聞いていますよ！

おいしそー！！

どんな色使いをしよう？こんな感じかなあ？

＜大変なこと＞

- 色を作ること(色作り)
- 色使い

大変！大変！

どの写真を使おう？これいいんじゃない？

＜大変なこと＞

- 写真を選ぶこと
- くわしく書くこと

早く書かないとー！

優秀賞

題名：今、自分たちにできること（環境）米づくり編

平田村立蓬田小学校



【目次】

0. 前書き ————— P1

1. 米づくり ————— P2

- ①田植え・・・・・・・・・・ P3
- ②稲の成長の記録（5月～10月）・・ P4
- ③束つら作り・・・・・・・・ P23
- ④稲刈り・・・・・・・・・・ P24
- ⑤脱穀・・・・・・・・・・ P25
- ⑥収穫祭（餅つき）・・・・ P26
- ⑦米づくりの感想・・・・ P27

2. 食育の取り組み ————— P29

- ①ふくしまっ子ごはんコンテスト・・・・ P30
- ②おにぎりデー＆マイお弁当の日・・・・ P32
- ③栄養教室・・・・・・・・・・ P34

3. 環境の取り組み ————— P35

- ①森林学習・・・・・・・・・・ P36
- ②エネルギー教室・・・・・・ P37
- ③緑のカーテン・・・・・・・・ P38
- ④自然体験・・・・・・・・・・ P40
- ⑤花の苗植え・・・・・・・・ P40
- ⑥残飯O運動・・・・・・・・ P40

4. まとめ ————— P41

前書き

5年生は、総合的な学習の時間に、【環境】をテーマに4月から学習を進めている。主に、【環境】【食育】【米づくり】の三本柱とし、一つ一つの活動の価値を最大限得られるように、総合的に取り組んでいることが本校の取り組みの特徴である。まず【環境】では、自然に詳しい外部の人材（小野自然クラブ・東北電力・学校用務員）を講師として招き、体験学習を中心に「実感をともなった理解」ができるような取り組みを行っている。次に【食育】では、村の関係各機関（給食センター・健康福祉課・地域学校保健課）と連携を図りながら、

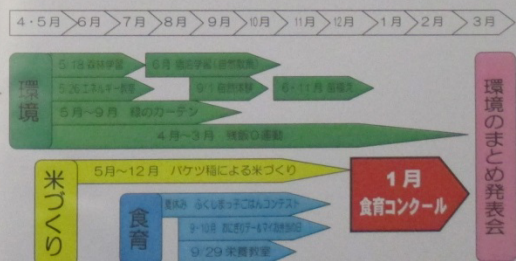


子どもと保護者の興味・関心が湧くような取り組みを行っている。最後に【米づくり】では、JA夢みなみあぶくま石川地区支援センターのみなさんの協力のもと、長期間にわたる栽培活動を根気強く行うことで、作り手への感謝、食物を作る大変さ、食べ物のありがたさ、収穫の喜びなどを感じることが出来る取り組みを行っている。

そこで、今回の【食育コンクール】を米づくりのまとめの機会と位置づけ、5月からの取り組みを観察の記録を中心にまとめることにした。そして、3月に実施する【環境のまとめ発表会】に今回の米づくりのまとめをつなげ、最終的に子ども達の環境への意識が高まることを最大のねらいとしている。



【今、自分たちができること（環境）】プロジェクト



1. 米づくり

- ①田植え
- ②稲の成長の記録
（5月～10月）
- ③束つら作り
- ④稲刈り
- ⑤脱穀
- ⑥収穫祭
- ⑦米づくりの感想

田植え 実施日 5月25日

＜準備物＞

- ・バケツ
- ・水
- ・肥料
- ・土

＜作業内容＞

- ① バケツを用意して、土を入れ手で混ぜる。水まで水がいくようによくかき混ぜる。代かき
- ② 肥料を入れた後、苗を植える。
- ③ 水を入れて終了。



＜感想＞

すごくむずかしかったです。なぜなら、初めてやり、とてもふなれだしいつも機械などや、ているので手でやるのがあまり経験したことがなか、たからです。

栄養教室 (9月29日)

食育の一環として、栄養技師や保健士の先生と一緒に「朝ごはん」や「栄養素」、「おやつとり方」など、学年に応じた内容で指導をした。高学年は家庭科で食について学習をする機会はあるが、低学年のうちから自分の体を作る基となる食について考えていくことは有意義な教育活動である。平田村は、それを「給食センター」「健康福祉課」「学校」とで連携をしながら進めていることで、子ども達にとって価値の高い取り組みとなっている。



↑ 村の栄養技師の先生による授業風景。今年は「おやつとり方」でした。



↑ 栄養士の先生による授業風景。朝ごはんについて学習しました。(5年)

↑ 3年生は栄養素について学習をしました。

34

3. 環境の取り組み

- ① 森林学習
- ② エネルギー教室
- ③ 緑のカーテン
- ④ 自然体験
- ⑤ 花の苗植え
- ⑥ 残飯0運動

35

自然体験 (9月1日)

小野町で「ターザンロープ」「木登り」「ビザ作り」にチャレンジした。こういった体験ができるのも、空気がきれい、木もたくさんあり、管理をする人がいるから。環境(自然)の大切さを改めて実感する時間となった。



↑ ターザンロープも最高!

↑ ビル4階の高さまで登りました。

↑ 自然の中で、ビザを使って作りました。

花の苗植え (6月・11月)

6月には花いっぱい運動の一環として、様々な花の苗を植えた。8月には色鮮やかな花を咲かせ、子ども達の心や表情も明るくなった。11月には、来年の春にきれいな花が咲くようにとチューリップの苗を植えた。環境の取り組みではなかったが、こういった小さな活動の積み重ねが地球をきれいにするのもかもしれない。



↑ 全児童でたくさんのお花を植えました。

↑ 友達と協力する大切さも分かりました。

↑ 春には、色とりどりの花が咲きますように!

残飯0運動 (通年)

残飯を減らすことは、環境に良い。食品ロスを減らし、残飯を処理するコスト削減にもつながることはもちろんのこと、生ごみを処理する際に発生する二酸化炭素を減らすことができる。だから、5年生では4月から残飯0運動を実施している。



40

まとめ

5年生は、総合的な学習の時間のテーマ【環境】の一環として、[米づくり]を行ってきた。米をつくるのが初めての子どもが多くいる中、土作りから始めた。土を混ぜる代かきの意味も分からなかったころに比べて、一つ一つの作業・知識を、目で見て、頭で考え、手足で感じる体験的な活動で覚えていった。まさに【手足にも知恵を】である。この言葉は、4年前に蓬田小学校と統合した永田小学校で、長年[米づくり]を指導してくださった方の言葉である。くしくも、永田小学校最後の[米づくり]にかかわったのがこの5年生(3名)であり、1年生のときの束つら作りを体が覚えていてぱっぱと縄もじりを行う姿に、体験活動の大きな意義を感じた。また、8ヶ月と長期にわたって育てる間には、夏の日照りと天候不順により稲の生育がうまくいかなかったこともあった。この苦悩や自らの手で育てる苦労を経験し、収穫祭(餅つき)で収穫の喜びも味わうことができたからこそ、食への感謝・作り手への感謝を改めて実感できたのだと思う。

子ども達の体験的な活動が少なくなって現代、[食の命]にかかわることができる[米づくり]は貴重な活動の一つである。この活動にかかわることができたことに感謝しつつ、次のステップである3月の【環境のまとめ発表会】に向けてさらに学習を進めていき、【今、自分にできること(環境)】はどんなことなのかを真剣に考えていきたい。



「夢みなみあぶくま石川地区支援センターのみなさん
ご協力、ありがとうございました!

41

優秀賞

題名：バケツの田んぼ

田口ひろひろ子ども会

